

八木・菊地研究室 卒業論文題名 2024年3月8日

	学士 学位授与年	氏	名	卒業論文題名
1	1977	川角	浩一	1,4-ジスチリルベンゼンおよびそのメチル誘導体アニオンラジカルのESR
2		小林	健吉郎	2,2'-ビフェニルジオールおよび4,4'-ビフェニルジオールの励起三重項状態のESR
3		分田	真	フッ化ビフェニル及びジピリジンの関連化合物の励起三重項状態のESR
4	1978	浅香	義明	無水フタル酸の最低励起三重項状態における微細構造
5		安部	具彦	d軌道を含む混成軌道
6		岡野	純雄	4,4'-DihydroxybiphenylおよびTryptophanのアルカリ性側, 酸性側における最低励起三重項状態のESR
7		清水	敦	延伸PVA膜中におけるビス-サリチル-1,2-エチレンジイミン銅(II)のESR
8		谷垣	勝己	ESRによる2,2'-および3,3'-ジフルオロビフェニルのりん光状態の研究
9		中村	明一	ポリ(1-ビニルナフタレン)の最低励起三重項状態におけるESRスペクトル
10	1979	石井	由光	芳香族分子のりん光状態における超微細構造定数
11		齊藤	壽一郎	ポリ(1-ビニルナフタレン), ポリ(2-ビニルナフタレン)の最低励起三重項状態におけるESRスペクトル
12		酒井	光則	三重項-三重項エネルギー移動による1,2,4,5-テトラシアノベンゼンの最低励起三重項状態のESR
13	1980	久野	英明	f軌道を含む混成軌道
14		鈴木	和弘	亜鉛及びマグネシウム錯体中の配位子2,2'-ビピリジンの最低励起三重項状態のESR
15		高梨	みどり	ESRを用いるポリ(1-ビニルナフタレン)の三重項エネルギー移動についての研究
16		松永	正明	4-フェニルピリジンの最低励起三重項状態のESR
17	1981	佐野	藤治	調査中
18		關	金一	2,2'-ビフェニルジオールのりん光状態
19		牧口	和弘	2,2'-ビピリジンのりん光状態における酸・塩基平衡
20	1982	大貫	淳史	2,2'-ビピリジンのりん光状態における配座異性体の研究
21		神田	武利	4-ヒドロキシビフェニルおよび4,4'-ジヒドロキシビフェニルのりん光状態における酸・塩基平衡
22	1983	新井	博之	2,2'-ビピリジンを配位子とするCa ²⁺ 及びSr ²⁺ 錯体の最低励起三重項状態に関する研究
23		土生	真二	2-および3-フェニルピリジンのりん光状態における酸塩基平衡
24		南	達郎	延伸PVA膜中におけるナフタレンの $\Delta m_s = \pm 2$ のESR
25	1984	内田	研四郎	含窒素芳香族化合物のりん光状態における禁制遷移ESRによる超微細構造の研究

26		齊藤	彰	時間分解ESR法を用いた芳香族分子の励起三重項状態の直接検出
27		芝宮	良雄	縮重した分子種におけるESRの基礎的研究
28	1985	木村	剛	3,3'-ビピリジンのりん光状態に関する研究
29		高野	慶一	時間分解ESR法による短寿命励起三重項状態の研究
30	1986	小村	晃雅	2-ヒドロキシビフェニルのりん光状態における酸塩基平衡
31		小森田	裕	3,3'-ビピリジンのりん光状態における配座異性体の研究
32		田口	規之	2,2'-および3,3'-ジメチルビフェニルの最低励起三重項状態における配座異性体の研究
33		花田	一彦	バソフェナントロリンとバソクプロインならびにそれらを配位子とする銅1価イオン錯体の最低励起三重項状態
34		林	一好	p -ポリフェニル類の最低励起三重項状態
35	1987	大塩	一己	カルベン・ナイトレンにおける微細構造定数
36		太田	純	6,6'-ジメチル-2,2'-ビピリジンの最低励起三重項状態における配座異性体
37		金尾	佳文	トランススチルベンの最低励起三重項状態
38		佐々木	潤	2,2'-ビピリジンを配位子とする Be^{2+} および Cd^{2+} 錯体の最低励起三重項状態
39		塩屋	靖	1,8-ジニトロナフタレンの最低励起三重項状態の時間分解ESR
40		村本	章	α -ナフトールの最低励起三重項状態におけるプロトン解離と ^1H -超微細分離
41	1988	近藤	真規子	分子軌道法(MO法)を用いた抗原抗体反応の解析(廣田研究室)
42		出口	泰章	2,2'-ビピリジンとその関連化学種の最低励起三重項状態における時間分解ESR
43		三國	賢治	ジアザスチルベンの最低励起三重項状態の時間分解ESR
44		山内	奈津子	励起状態における2,2'-ビピリジンおよび2,2'-ビキノリン配座異性体の研究
45	1989	伊藤	功巳	4,4'-ビピリジンの最低励起三重項状態の時間分解ESR
46		小坂	順一	火山観測で用いる高濃度 H_2S ガスセンサーの開発(朝倉研究室)
47		白井	勇人	6,6'-ジメチル-2,2'-ビピリジンおよびその亜鉛錯体の最低励起三重項状態における時間分解ESR
48		鳥居	昌史	2,2'-ビキノリンの配座異性体の発光特性と最低励起三重項状態におけるESR
49		松井	一	77 K剛性溶媒中のシス-スチルベンの光異性化反応の研究
50	1990	金島	崇	4,4'-ジメチル-2,2'-ビピリジンおよびその関連化学種の最低励起三重項状態における時間分解ESR
51		狩野	良造	McLachlan法によるスピン密度の計算:ポリフェニル類
52		塚原	和久	Molecule in molecules法によるビフェニルの最低励起三重項状態の計算
53		藤沢	道憲	置換2-ニトロビフェニル類の紫外線照射により生成する準三重項分子種のESR

54		吉村	公博	紫外線照射2-ニトロビフェニル類、及びおよびその関連分子種の三重項状態のEPR
55	1991	畑中	秀之	ポリ(2'-ニトロ-4-ビフェニル)の合成及びその紫外線照射により生成する三重項分子種のEPR
56		八田	直	2,2'-ビピリジン及びジメチル-2,2'-ビピリジンを配位子とした亜鉛錯体の結晶における最低励起三重項状態のESR
57		水木	一英	5,6-ジヒドロ-1,10-フェナントロリンとその亜鉛(II)およびカドミウム(II)錯体の最低励起三重項状態のESR
58		和田	洋二	芳香族ニトロ化合物の紫外線照射により生成する三重項分子種のEPR
59	1992	岡	伸樹	3,3'-ジメチレン-2,2'-ビキノリンとその亜鉛(II)及びカドミウム(II)錯体の最低励起三重項状態
60		小畑	欣也	時間分解ESR法による短寿命励起三重項状態の研究
61		佐藤	雅浩	3,3'-ジメチル-2,2'-ビピリジン及びその関連分子の最低励起三重項状態
62		松尾	圭介	1,10-フェナントロリン亜鉛(II)錯体の最低励起三重項状態における時間分解ESR
63		武藤	昭博	置換2-ニトロビフェニルの紫外線照射により生成する三重項分子種のEPR
64		森田	正人	最低励起三重項状態におけるm-polyphenyl類のゼロ磁場分離定数について
65	1993	瀬上	雅文	2-メチル-1,10-フェナントロリン及びその亜鉛(II)錯体の励起状態
66		竹村	知正	メチルビピリジン及びその関連分子の光励起状態
67		矢吹	朗	紫外線照射した4-ニトロ-9,10-ジヒドロキシフェナントレン結晶のEPR
				(1993年3月樋口治郎教授定年退職)
68	1994	池本	敦子	6,6'-ジメチル-2,2'-ビピリジンおよびその亜鉛(II)錯体、カドミウム(II)の錯体の光励起状態
69		岩城	孝	4,7-ジメチル-1,10-フェナントロリン及びその亜鉛(II)錯体の最低励起三重項状態
70		佐野	晋	2,2'-ビピリジンおよび6,6'-ジメチル-2,2'-ビピリジンの配座異性体の励起状態
71		渡邊	康弘	励起三重項状態における1,6-ナフチリジン及びそのプロトン付加陽イオンのESR
72	1995	江端	和清	調査中
73		角方	慎哉	ケイ皮酸エステルの光励起状態
74		清木	義夫	レーザーラマン分光法による水-2-プロパノール混合溶媒の組織変化に伴う2,2'-ビピリジンの配座異性体の研究
75		関	弥生子	励起三重項状態における2,4'-ビピリジンのプロトン付加陽イオンのESR
76		土田	路子	trans-o-クマル酸の最低励起三重項状態
77		松嶋	景一郎	トランス-2,4'-ジピリジルエチレンの最低励起三重項状態
78	1996	井濶	新一	6-メチル-2,2'-ビピリジンとその配座異性体に関する研究
79		田中	裕樹	調査中
80		野田	倫弘	トランス-4,4'-ジピリジルエチレンのプロトン付加陽イオンの光励起状態

81	1997	落水	朋樹	調査中
82		嵯峨	博	<i>p</i> -メチルケイ皮酸の光励起状態
83		塩田	達俊	調査中
84	1998	清水	貴臣	2,2'-ビキノリンの基底及び励起状態における配座異性体
85		藤野	賢治	調査中
86		矢口	正基	調査中
87	1999	青木	俊介	2,2'-ビピリジンおよび2,2'-ビキノリンのアルコール-水混合溶媒中の配座異性と発光特性の研究
88		島田	強	ケイ皮酸とそのプロトン解離陰イオンの励起状態
89		田村	奈美	トランス-2-スチリルピリジンとそのプロトン付加陽イオンの光励起状態
90	2000	鈴木	大介	アクリジンのプロトン付加陽イオンの光励起状態
91		松山	武史	2,2'-ビピリジンおよび2,2'-ビキノリンの配座異性体
92		山元	一郎	<i>p</i> -メチルケイ皮酸の光励起状態
93	2001	岡	洋介	ピリジルフェニルアセチレンおよびそのプロトン付加陽イオンの最低励起三重項状態の研究
94		加藤	一史	マイクロ波放電による一重項酸素分子の生成とEPR直接検出
95		高崎	祥平	2,2'-ビキノリンの配座異性体と発光特性
96		村田	周平	光増感法による一重項酸素分子のEPR測定
97		山中	健一	一重項酸素分子の気相におけるEPR直接検出
98	2002	伊藤	亮	<i>cis</i> -2,2'-ビキノリンおよびそのプロトン付加陽イオンの励起状態と発光特性の研究
99		今村	孝志	メキシケイ皮酸の光励起状態
100		奥谷	聡	ピリジルフェニルエチンおよびそのプロトン付加陽イオンの最低励起三重項状態の研究
101		北澤	宏幸	一重項酸素分子のEPR直接検出における光増感剤の研究
102		竹本	正悟	気相における一重項酸素分子のEPR直接検出
103	2003	梅津	和宏	ピリジルフェニルアセチレンの最低励起三重項状態における時間分解ESR
104		金子	隼也	イオン性液体中における2,2'-ビキノリンの光励起状態
105		笹瀬	良治	<i>p</i> -メチルケイ皮酸の光励起状態からの緩和過程の研究
106		新岡	輝正	EPR法による一重項酸素分子の寿命測定
107		前川	智彦	一重項酸素分子のEPR直接検出による定量法の検討
108	2004	澤頭	竜一	イオン性液体中における2,2'-ビピリジンの光励起状態

109		菅根	大数	気相一重項酸素分子生成過程における高効率光増感剤の研究
110		中山	喜光	ケイ皮酸メチルの光励起状態からの緩和過程の研究
111		松本	理子	イオン性液体中におけるフェナジンの光励起状態
112		茂木	健太郎	<i>p</i> -メチルケイ皮酸の光励起状態からの緩和過程の研究
113		山田	憲司	一重項酸素分子の電子常磁性共鳴法による直接検出と寿命測定
114	2005	五十嶺	裕貴	ピリジルフェニルブタジイン及びそのプロトン付加陽イオンの発光特性
115		内山	具朗	イオン液体中における6,6'-ジメチル-2,2'-ビピリジンの光励起状態
116		小山	浩晃	イオン液体中の <i>p</i> -フェニルフェノールの光励起状態
117		上瀧	修也	<i>p</i> -メチルケイ皮酸の光励起状態からの緩和過程の研究
118		平野	麻友	一重項酸素分子の電子常磁性共鳴法による直接検出と定量
119		宮崎	領太	電子常磁性共鳴法による気相の一重項酸素分子の直接検出と光増感剤の検討
120	2006	片岡	映美菜	有機系サンスクリーン剤関連分子ケイ皮酸エチルの光励起状態緩和過程
121		長谷川	恵介	電子常磁性共鳴法による気相一重項酸素の生成および緩和過程の研究
122		松尾	遼	含窒素ジフェニルブタジインの光励起状態
123		松尾	龍一郎	イオン液体中における2,2'-ビキノリンの光励起状態
124		山下	佳紀	<i>p</i> -メトキシケイ皮酸の光励起状態からの緩和過程
125	2007	井澤	祥一	有機系サンスクリーン剤 <i>p</i> -メトキシケイ皮酸オクチルの光励起状態緩和過程
126		笠松	省吾	含窒素ジフェニルポリインの合成と光励起状態
127		桑山	健太	イオン液体中における2,2'-ビピリジンの光励起状態
128		中島	大輔	イオン液体中における電荷移動錯体の光励起状態
129		松田	勇太	含窒素ジフェニルアセチレンの光励起状態
130		守屋	雅仁	電子常磁性共鳴法の光増感一重項酸素寿命測定への応用
131	2008	小柴	鍊介	紫外線吸収剤ブチルメトキシジベンゾイルメタンの光励起状態
132		鈴木	剛史	ビスイミダゾリルラジカル誘導体の合成と物性
133		中島	貴子	2-メチルフェニル 2-ナフトエートの光励起状態と緩和過程
134		原田	ゆかり	ヘキサアリアルビスイミダゾール誘導体の光誘起ラジカル対の電子状態と寿命
135	2009	阿久津	歩	テトラアザフルバレン骨格を有する拡張 π 共役化合物の合成と物性
136		香西	洋明	ヘキサアリアルビスイミダゾール誘導体をモノマーユニットとする光活性ポリマーの合成と光化学特性

137		神山	雄一郎	含窒素ジフェニルポリインの合成と光励起状態
138		雪丸	慎介	<i>p</i> -メトキシケイ皮酸-2-メチルフェニルエステルの光励起状態と緩和過程
139		脇畑	行博	イミダゾリルラジカル誘導体の合成および電子構造
140	2010	芝田	謙二	紫外線吸収剤ショウノウ誘導体の光励起状態と緩和過程
141		我妻	善史	紫外線吸収剤ケイ皮酸エステルの励起状態
142	2011	高橋	誠弥	ヘキサアリアルビスイミダゾール骨格を有する有機-無機ハイブリッド材料の創製と物性
143		立花	慎也	紫外線吸収剤2-ヒドロキシ-4-メトキシベンゾフェノンの励起状態
144	2012	熊坂	亮	有機系紫外線吸収剤2,2'-ジヒドロキシ-4,4'-ジメトキシベンゾフェノンの光励起状態
145		南部	祐一	トリフェニルイミダゾリルラジカル誘導体の合成と物性
146		畑	友輝	有機系紫外線吸収剤メキシクリレンエチルヘキシルの励起状態
147	2013	杉山	一翔	サリチル酸エステル、ベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤の光励起状態と一重項酸素光増感生成
148		平本	祐也	紫外線吸収剤Oxydex STの光励起状態
149		屋中	智生	紫外線吸収剤パラアミノ安息香酸誘導体からの一重項酸素光増感生成
150	2014	稲野	敬	UV-A吸収剤ネオヘリオパンの光励起状態
151		土谷	卓史	UV-B吸収剤エチルヘキシルトリアゾンの励起状態と一重項酸素の光増感生成
152		半井	優也	紫外線吸収剤間のエネルギー移動と光安定化
				(2014年3月八木幹雄教授定年退職)
153	2015	松岡	慎也	ベンズイミダゾール系UV-B吸収分子の光励起状態
154		宮澤	悠介	蛍光発色団BODIPYを有するベンゾピラン誘導体の合成
155		三好	麻理子	UV吸収分子ベンゾトリアゾール誘導体の光励起状態
156	2016	小野	貴透	ビスイミダゾール誘導体の合成と発光特性
157		社本	裕太	UV-A吸収分子ジエチルアミノヒドロキシベンゾイル安息香酸ヘキシルの光励起状態
158		間淵	陽	蛍光性発色団BODIPYを有するナフトピラン誘導体の合成および蛍光特性
159	2017	清水	良平	光安定剤ナフトレンジカルボン酸ジエチルヘキシル(コラパンTQ)の光励起状態
160		福地	調	クロマノール誘導体の合成と一重項酸素消光能
161		松本	涼奈	室温溶液中の紫外線吸収剤間三重項-三重項エネルギー移動
162	2018	北阪	翔伍	アスコルビン酸誘導体による一重項酸素の生成抑制と消光
163		新城	知佳	2,4,5-トリフェニルイミダゾール誘導体による一重項酸素消光

164		吉永	悠人	紫外線吸収分子パルソールSLXの光励起状態と一重項酸素
165	2019	小島	賢也	アミノ酸によるリボフラビン光増感一重項酸素生成に対する生成抑制
166		樋口	真	リボフラビン光増感一重項酸素生成に対するサリチル酸誘導体による消光と生成抑制
167	2020	飯窪	悠輝也	励起エネルギー移動によるエルゴステロール三重項状態と一重項酸素生成
168		豊川	章太郎	ビタミン類による活性型ビタミンB6光増感一重項酸素の生成抑制
169		松原	航那	プリン誘導体によるリボフラビン光増感一重項酸素の生成抑制および抑制機能解明
170	2021	石丸	貴大	エリスロシンB光増感一重項酸素の生成抑制
171		林	拓実	アミノ酸によるフロキシシンB光増感一重項酸素の生成抑制
172		杵師	啓斗	カテコール類によるリボフラビン光増感一重項酸素の生成抑制
173	2022	北村	優作	6-チオグアニンの光励起状態
174		倉品	鷹人	エリスロシンB光増感一重項酸素に対するレスベラトロールの生成抑制効果
175		久永	壮一郎	水溶性有機紫外線吸収分子によるリボフラビン光増感一重項酸素生成抑制
176	2023	岡嶋	紀人	インドール誘導体によるエオシンY光増感一重項酸素の生成抑制
177		吉本	雄翔	キニーネ光増感一重項酸素の生成抑制
178	2024	五十嵐	寛真	光安定化剤ジオクチルヒドロキシジメチルベンジリデンマロネートの光励起状態と光安定化機構
179		牛田	光紀	フラボノイド配糖体フェラムリンの光励起状態
180		福岡	悠奈	トリフェニルイミダゾール誘導体による一重項酸素消光